

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	心身障がい福祉センター分園すてっぴ大池通り		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		令和6年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	78	(回答者数) 78
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日		令和6年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・クラス懇談会、学習会を通して保護者支援を行っている。	・年間を通して内容を作成し、情報提供だけでなく、多岐に渡り学習会をして、子どもの理解へとつなげている。	・本体施設である「福岡市立心身障がい福祉センター(児童発達支援センター)」のバックアップを受けながら、専門職とコラボレーションし、様々な視点で支援の充実に繋げたい。
2	・親子通園グループがあり、ペアレントトレーニングができています。	・振り返りノートを作成し、保護者に「良い行動に注目する」という視点が育つよう工夫している。	・保護者のニーズに合わせながら、保護者同士の関わりがより持てるように工夫したい。
3	・心身障がい福祉センターのバックアップがあり、連絡がとりやすい。	・施設訪問等の時は訪問支援保育士と連携をとり、フィードバックをうけている。 ・専門士にもアドバイス等を受け、支援に活かしている。	・保護者様に専門士との連携をより感じてもらえる工夫を考えたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所主体による地域との関わりや園との交流の機会がない。	・コロナ禍もあり、病弱児も在籍している為、事業所としての交流を控えている。	・並行通園という形態の為、日頃から交流できていると考えている。 ・事業所を知ってもらう為の情報提供をできるよう考える。
2	・父母の会の存在がない。	・週1回と月2回という通園形態の為、今のところ、父母の会の設置についてのニーズがあがっていない。	・現在、クラス懇談会や親子通園の振り返り時間を保護者同士の交流の場としてとらえ、情報共有している。